

公衆衛生看護学実習評価表 (保健所・市町村)

学籍番号

学生氏名

目標	行動目標(到達度)	学生	保健所	市
1. コミュニティ・アセスメントから明らかにした地域の健康課題の検証を行い、解決・改善策を計画・立案することができる。	①地域の人の生活と健康を多角的に・継続的にアセスメントする			
	②アセスメントから得た健康課題について検証できるよう情報収集する			
	③明確にした顕在的・潜在的課題解決につながる取り組み、事業について説明できる			
	④地域のアセットに着目し、強みを活かした支援方策を立案する 支援方策について現状の取り組み、事業に加えて実現可能性のある方策について検討する			
	⑤限られた予算、時間、マンパワーの中で、倫理的な配慮をふまえ、優先順位をつけて実施計画及び評価計画を立案する			
2. 個人・家族・集団・組織への継続的支援や協働・組織活動等についてPDCAサイクルに基づき説明できる。	①支援を必要とする個別(個人・家族)への継続的な支援のために適切な公衆衛生看護技術・方法を用いることができる			
	②課題解決において地域の人々・関係機関等と連携・協働することについて理解できる			
	③活動を評価し、フォローアップしている事例について、PDCAサイクルを説明できる			
3. 地域の人々・関係者・関係機関等と協働して健康課題を解決・改善していく実習を学び、地域ケアシステム構築を含めた地域マネジメントについて説明できる。	①関係者・関係機関等との共通認識・情報共有のもと、健康課題解決に向けてそれぞれが果たす役割の合意形成の場における保健師のマネジメントが説明できる			
	②多職種による連携・協働を踏まえた健康解決のための仕組みが理解できる			
	③健康課題解決のための地域マネジメントについて説明できる			
4. 健康危機管理体制及び対応について、保健師が果たす役割について説明することができる。	①関係者・関係機関等との共通認識・情報共有のもと、健康課題解決に向けてそれぞれが果たす役割の合意形成の場			
	②健康危機の発生時に対応する内容、重点方針・リスクマネジメント・クライシスマネジメントについて説明できる			
	③健康危機発生後からの回復期における対応について説明できる			
5. 地域の人々の健康を保障するために公平・公正な制度や社会資源の開発・システム化・施策化する事を説明できる。	①自治体の施策体系施策概要			
	②保健医療福祉の包括的なケアシステム及び地区活動や地域診断を根拠とした施策・事業、システムについて説明できる			
	③健康課題解決時に必要となる社会資源の開発について検討し、説明することができる			
	④活動(事業) 予算の仕組みについて理解できる			
	⑤健康増進計画の実施・評価等一連の過程と保健師活動の実際を関連づけた評価について説明できる			

評価:4:自立してできる 3:少しの援助があればできる 2:指導者等と一緒にできる 1:できない

学生総評	保健所総評	市総評
	署名	署名